

企業概要

- 1976年設立以来、弊社は製品が流通する環境での衝撃や振動を緩和して、製品を保持する「緩衝材」を開発することをモットーに、すべてのステークホルダーの皆様へ「驚き」と「感動」と「安心」を提供。
- 1996年にフィリピンに「ホールディング」会社設立。アジア圏に進出する日系企業向けに梱包材事業を展開。国内の梱包は医療機器が主であるが、海外は産業用が主となっている。
- 社会的貢献を行うことを目的として、重大な災害等の発生時でも中核事業の継続や早期復旧を図るため、2012年に事業継続管理システム（ISO22301）を取得。

企業情報	
企業名	カネパッケージ株式会社
代表者	金坂 良一
設立年	1976年
資本金	5,000万円
従業員	1,100名（海外従業員含）
本社所在地	埼玉県入間市南峯1095-15
事業概要	各種緩衝材、設計・試験・製造・販売
電話番号	04-2936-3031



代表取締役社長 金坂氏

SDGs達成を通じた取組



【経緯・背景等】

- 環境改善・社会貢献は経営上としても重要な活動の一つとして位置付けている。段ボールは使用後ゴミとして捨てられ焼却されることでCO2を排出する負のイメージがある為、そのイメージをクリーンなイメージに変えたいという思いが経緯としてあり、CSR活動を通して、地域住民への恩返し、また従業員一人一人の環境に対する意識の向上を図る目的が背景としてある。



本社
SDGs勉強会



三幸製作所
SDGs勉強会

【具体的な取組、製品・サービス】

- CO2の削減。
梱包材のダウンサイジング化、省資源化、積載効率のUP、トータル梱包材物流コストの効率化への取り組み。
- CO2の吸収、光合成を通じ酸素の排出を行い、水の浄化、海岸線の保護、渡り鳥の保護、海洋生物の多様性保護。
マングローブの植林活動の取り組み（フィリピン セブ島周辺の島々 2009年スタート継続中）
- CO2の削減、海洋生物の多様性保護。
卵の殻を使ったバイオマスプラスチック製品「プラシエル」の推進



マングローブ植林の様子



箸

【取り組んだ成果・効果】

- マングローブ植林活動については、2019年で10年目を迎え植林した本数は1,200万本/植林面積336 h r（東京ドーム71個分）を達成している。
- 「プラシエル」については製品開発も進み幅広い分野に展開。現在企業39社が「プラシエル」製品を導入、県も本取り組みを後援し、普及促進中。



「ISO22301」認証取得



オープナー

プラシエル製品

（写真：同社提供資料）

【貴社にとってのSDGsと、その展望】

企業の価値を向上させるだけでなく持続的な経済活動の創造、またステークホルダーからの評価を得る一番の取り組みです。